2023年度授業計画(シラバス)

参照番号: G1202301

科目名	庭園史			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	中安 哲男		
				実務経験および関連資格	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

日本をはじめ世界各国において、それぞれの時代背景やその風土に影響を受け確立された様々な庭園スタイルを学ぶ。造園における国内外の技術や技法、多様化する庭園様式を理解し、あらゆるニーズに対応できる能力を身に付ける。

教科書・参考書名	図説 日本庭園のみかた

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○				
小テスト	30%	○				
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他( )						
その他( )						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	世界的に見る2大庭園様式	第1回	
概要	自然風景式庭園と成形式庭園	概要	
第2回	日本庭園史①	第2回	
概要	庭園様式と変遷	概要	
第3回	日本庭園史②	第3回	
概要	作庭と思想	概要	
第4回	日本庭園史③	第4回	
概要	浄土式庭園とその特徴・代表する庭園	概要	
第5回	日本庭園史④	第5回	
概要	池泉回遊式庭園とその特徴・代表する庭園	概要	
第6回	日本庭園史⑤	第6回	
概要	建築様式と庭園様式の関係	概要	
第7回	日本庭園史⑥	第7回	
概要	枯山水庭園とその特徴・代表する庭園	概要	
第8回	日本庭園史⑦	第8回	
概要	茶庭・露地その特徴	概要	
第9回	外国庭園史①	第9回	
概要	エジプト文明に見る古代文明と庭園	概要	
第10回	外国庭園史②	第10回	
概要	戦乱期と庭園様式の継承	概要	
第11回	外国庭園史③	第11回	
概要	スペインの庭園様式とその特徴・代表する庭園	概要	
第12回	外国庭園史④	第12回	
概要	イタリアの庭園様式とその特徴・代表する庭園	概要	
第13回	外国庭園史⑤	第13回	
概要	フランスの庭園様式とその特徴・代表する庭園	概要	
第14回	外国庭園史⑥	第14回	
概要	イギリスの庭園様式とその特徴・代表する庭園	概要	
第15回	外国庭園史⑦	第15回	
概要	アメリカと近代の庭園様式とその特徴・代表する庭園	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202302

科目名	造園植物Ⅰ			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	3単位	担当教員	窪田 彩音		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

植物の生態的分類、植生など基本知識を学んだ上で、造園材料としての植物の理解を深め、造園業に携わるための植物の知識を習得する。

教科書・参考書名	自然散策が楽しくなる！葉っぱ・花・樹皮で見わける樹木図鑑

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○				
小テスト	10%	○				
課題	10%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク	10%					○
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	造園材料としての植物について（1）	第1回	地被植物の分類
概要	分類学上の定義と生活史	概要	分類学上の定義と分類
第2回	造園材料としての植物について（2）	第2回	木本・草本類（1）
概要	造園植物の特性と用法	概要	木本・草本類の定義と種類
第3回	樹木の識別（1）	第3回	木本・草本類（2）
概要	葉・枝・花による識別	概要	生態的特性と利用効果
第4回	樹木の識別（2）	第4回	芝生（1）
概要	果実・樹皮・芳香による識別	概要	日本芝・西洋芝の定義と種類
第5回	樹木の識別（3）	第5回	芝生（2）
概要	樹形・根系による識別	概要	生態的特性と利用効果
第6回	造園樹木の分類（1）	第6回	花卉園芸植物（1）
概要	生態的特性からみた分類	概要	一年草・宿根草・球根類の定義と種類
第7回	造園樹木の分類（2）	第7回	花卉園芸植物（2）
概要	生育環境分布からみた分類	概要	生態的特性と利用効果
第8回	造園樹木の分類（3）	第8回	コケ類・ササ類（1）
概要	樹種別利用効果と分類	概要	コケ類・ササ類の定義と種類
第9回	造園樹木の分類（4）	第9回	コケ類・ササ類（2）
概要	有用植物とその効用	概要	生態的特性と利用効果
第10回	公共用緑化樹木の規格基準（1）	第10回	公共施設の植栽・野外実習（1）
概要	品質規格と寸法規格	概要	植栽識別演習
第11回	公共用緑化樹木の規格基準（2）	第11回	公共施設の植栽・野外実習（2）
概要	造園材料としての特質	概要	植栽識別演習
第12回	公共施設の樹木・野外実習（1）	第12回	植物の進化
概要	樹木識別演習	概要	進化の歴史
第13回	公共施設の樹木・野外実習（2）	第13回	生態系の中での植物
概要	樹木識別演習	概要	生態系の機能
第14回	前期総括	第14回	後期総括
概要		概要	
第15回	試験の傾向と対策	第15回	試験の傾向と対策
概要		概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202301

科目名	造園植物Ⅱ			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	1単位	担当教員	窪田 彩音		
				実務経験および関連資格	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

近年の多様化する緑化ニーズとそれらを満たす特性を備えた緑化樹木やグラウンドカバープランツ、ツル性植物、木草本類等、工事で使用されている多種多様な樹種・品種について、講義・演習・実習により実践的な視点から学び、適切な植物を選択する知識を習得する。

教科書・参考書名	自然散策が楽しくなる！葉っぱ・花・樹皮で見わける樹木図鑑

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○	○			
小テスト	10%	○				
課題	10%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク	10%					○
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回		第1回	植物の生産と流通
概要		概要	生産の形態と流通の形態
第2回		第2回	植栽計画の要点
概要		概要	緑化目的と環境に適した植栽の選定
第3回		第3回	公共施設の植栽
概要		概要	公園・街路樹
第4回		第4回	公共施設の植栽・野外実習(2)
概要		概要	植栽識別演習
第5回		第5回	和風庭園の植栽
概要		概要	計画事例の植栽分析
第6回		第6回	洋風庭園の植栽
概要		概要	計画事例の植栽分析
第7回		第7回	庭園の植物・野外実習
概要		概要	植栽識別演習
第8回		第8回	建物用途別の植栽
概要		概要	戸建住宅・集合住宅・各種施設
第9回		第9回	多様化する植栽
概要		概要	様々な庭園スタイル・屋上緑化・壁面緑化
第10回		第10回	環境変化と外来植物(1)
概要		概要	地球温暖化による植物変遷と庭園スタイル
第11回		第11回	環境変化と外来植物(2)
概要		概要	海外の庭園スタイルと植物
第12回		第12回	日本の自然樹木・自生樹木(1)
概要		概要	森林の構成要素と機能
第13回		第13回	日本の自然樹木・自生樹木(2)
概要		概要	環境別多様生態系
第14回		第14回	森林の植物・野外実習
概要		概要	樹木識別演習
第15回		第15回	総括
概要		概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202303

科目名	植物管理			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	3単位	担当教員	窪田 彩音		
				実務経験および関連資格	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

植物管理（養生管理・育成管理・密度管理・抑制管理・再生管理）の重要性とその方法を理解する。
樹木や草花など植物全般における維持管理の技術を身につけ、植物は生きものであることを常に意識し管理できるようになる。

教科書・参考書名	「花と木の名前」1200がよくわかる図鑑

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	40%	○	○			
小テスト	10%	○				
課題	10%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク	20%	○	○			○
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	草花の基礎①
概要		概要	1年性草本植物の定義と植生
第2回		第2回	草花の基礎②
概要		概要	宿根性草本植物の定義と植生
第3回		第3回	ガーデンスタイルと植栽①
概要		概要	耐陰性植物と好光性植物
第4回		第4回	ガーデンスタイルと植栽②
概要		概要	和風と洋風
第5回		第5回	芝生の植生と管理
概要		概要	管理方法と年間管理計画
第6回		第6回	草花管理の基礎①
概要		概要	養生・育成・密度管理
第7回		第7回	草花管理の基礎②
概要		概要	抑制・再生管理
第8回		第8回	草花管理①
概要		概要	バラ
第9回		第9回	草花管理②
概要		概要	ツル植物
第10回		第10回	草花管理③球根植物
概要		概要	球根植物
第11回		第11回	樹木管理①
概要		概要	高木・中木管理
第12回		第12回	樹木管理②
概要		概要	低木・花木管理
第13回		第13回	庭園管理①
概要		概要	施肥の種類と方法
第14回		第14回	庭園管理②
概要		概要	農薬と消毒の方法
第15回		第15回	庭園管理③
概要		概要	年間管理計画

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202304

科目名	造園材料			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	廣末 光一		
				実務経験および関連資格	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士 造園施工監理技術者		

授業の目標・ねらい

①植物をはじめとする多種、多用な造園材料の性質と機能についての基礎知識を習得することができます。
②造園材料の基礎知識を習得することで、造園に関わる業務や国家資格・民間資格の取得に役立ちます。

教科書・参考書名 造園施工管理（技術編）［改訂28版］

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	30%	○	○	○	○	
小テスト	30%	○	○			
課題	10%	○	○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク	10%	○	○	○	○	○
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	講義内容の概要説明	第1回	
概要	主な造園材料について　造園用具にふれよう	概要	
第2回	公共用緑化樹木の性質及び特徴	第2回	
概要	土壌改良剤・種類	概要	
第3回	公共用緑化樹木の流通形態及び規格寸法	第3回	
概要	造園樹木の観賞的価値	概要	
第4回	植栽の機能	第4回	
概要	植栽の各機能-1	概要	
第5回	植栽の各機能-2	第5回	
概要	前回までのまとめ	概要	
第6回	移植の難易度	第6回	
概要	造園樹木の天然分布と植栽分布	概要	
第7回	草花	第7回	
概要	地被植物	概要	
第8回	芝生の種類	第8回	
概要	土の分類	概要	
第9回	植込み用土　身近なところの土をﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙで簡易土壌分析	第9回	
概要	土壌改良剤・種類	概要	
第10回	下水汚泥とその特徴	第10回	
概要	剪定枝葉のリサイクル	概要	
第11回	石材	第11回	
概要	木材-1（膨張と伸縮・欠点）	概要	
第12回	木材-2（膨張と伸縮・欠点）	第12回	
概要	竹材	概要	
第13回	金属材料	第13回	
概要	セメントとコンクリート製品	概要	
第14回	プラスチック	第14回	
概要	レンガタイル	概要	
第15回	舗装材他	第15回	
概要	重点内容のまとめ　試験の傾向と対策	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202305

科目名	園芸学			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	坂 一朗		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

園芸学における植物分類を理解して、それぞれの植生や管理方法、育成に関する基本的な知識を習得し、樹木だけでなく多種多様な園芸植物の育成・繁殖・管理に精通する技術を身につけることができる。

教科書・参考書名 「花と木の名前」1200がよくわかる図鑑

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○			
小テスト	20%	○	○			
課題	20%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	園芸の歴史	第1回	1年性草本植物とその種類
概要	古代から近代の植物利用	概要	
第2回	地球環境の変化と植物の関わり	第2回	宿根性草本植物とその種類
概要	地球温暖化と環境問題・植物の役割	概要	
第3回	植物の分類①	第3回	日本芝生と西洋芝
概要	1年性草本植物と宿根性草本植物	概要	種類別植生
第4回	植物の分類②	第4回	地被植物とその利用方法
概要	球根・花木・ラン類・多肉植物・サボテン類	概要	法面緑化と壁面緑化
第5回	分類別植生と管理①	第5回	ツル性植物とその利用方法
概要		概要	壁面緑化
第6回	分類別植生と管理②	第6回	環境別植栽計画①
概要		概要	好光性植物の利用
第7回	自生地と育成管理のヒント	第7回	環境別植栽計画②
概要	生息地域と気候・土性	概要	耐陰性植物の利用
第8回	土壌環境と改良の必要性	第8回	環境別植栽計画③
概要	植栽土壌と改良	概要	水生植物の利用
第9回	土壌改良剤①	第9回	肥料とその効用
概要	土性と改良剤	概要	化成肥料と有機肥料
第10回	土壌改良剤②	第10回	施肥
概要	土質と改良剤	概要	施肥の方法と使用肥料
第11回	繁殖①	第11回	植物の病気
概要	種子繁殖と栄養繁殖	概要	病気の種類と症状
第12回	繁殖②	第12回	植物の害虫
概要	株分・挿し木・取り木・接木	概要	害虫の種類と見分け方
第13回	ガーデンスタイルと植栽①	第13回	消毒
概要	和風庭園と植栽	概要	農薬の取り扱い方と消毒の方法
第14回	ガーデンスタイルと植栽②	第14回	庭園管理計画
概要	洋風庭園と植栽	概要	年間管理の作業内容の適期
第15回	前期まとめ	第15回	後期まとめ
概要		概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202306

科目名	ガーデンデザイン			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	松田 泰行		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

庭園設計に必要な基本的要素や特性について理解し、設計手法、手描き図面の描き方を重点的に学習。平面図・立面図・断面図・パース図の描き方を習得し、造園業における設計の流れを把握した上で図面の読み方、施工可能な製図力を身に付ける。

教科書・参考書名	最新版 最高の植栽をデザインする方法

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	20%	○				
小テスト						
課題	60%	○			○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	サイズ感を養う	第1回	
概要	測量（長さ、高さ、面積、植物の樹高・枝張り・幹周など）	概要	
第2回	ガーデンデザインの基本（1）	第2回	
概要	庭園の基本的要素、現状把握の重要性と確認内容	概要	
第3回	ガーデンデザインの基本（2）	第3回	
概要	戸建て住宅内におけるインフラ設備と造園工	概要	
第4回	ガーデンデザインの基本（3）	第4回	
概要	計画地のゾーンニングとレイアウトの重要性	概要	
第5回	造園図面の表現方法（1）	第5回	
概要	平面図の描き方と表現手法	概要	
第6回	造園図面の表現方法（2）	第6回	
概要	立面図、断面図の描き方と表現手法	概要	
第7回	戸建住宅庭園製図(1)	第7回	
概要	①平面図と凡例を理解	概要	
第8回	戸建住宅庭園製図(1)	第8回	
概要	②平面図を立面図へ	概要	
第9回	造園図面の表現方法（3）	第9回	
概要	①パース図の描き方と表現手法	概要	
第10回	造園図面の表現方法（3）	第10回	
概要	②パース図の描き方と表現手法	概要	
第11回	戸建住宅庭園製図(1)	第11回	
概要	③平面図・立面図をパースへ	概要	
第12回	戸建住宅庭園製図(1)	第12回	
概要	④平面図・立面図をパースへ	概要	
第13回	戸建住宅庭園製図（2） トレース①	第13回	
概要	全体平面図・立面図	概要	
第14回	戸建住宅庭園製図（2） トレース②	第14回	
概要	全体平面図・立面図	概要	
第15回	総括	第15回	
概要		概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202307

科目名	エクステリアデザイン			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	松田 泰行		
				実務経験および関連資	設計および施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。2級造園施工管理技士、2級エクステリアプランナー		

授業の目標・ねらい

住宅外構事例を見学することにより エクステリアの機能・要素を理解するとともに、エクステリア製品の特性を把握し、演習によりエクステリアデザイン実務の手法を学ぶ。設計力向上目指し、他の科目と積極的に連携することで材料選別・積算、手描き設計・CAD設計を習得できる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○	○	○	
小テスト						
課題	20%	○		○		
プレゼンテーション	20%				○	○
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	建物と外構・庭
概要		概要	建物と外構・庭のバランス、用と景、和と洋・和洋折衷
第2回		第2回	エクステリア製品
概要		概要	様々なエクステリア製品の特性と利用法
第3回		第3回	建築協定と緑地協定
概要		概要	協定制度の目的と内容と効力
第4回		第4回	基本構想
概要		概要	設計条件の整理、資料収集、オリジナルと既製品、協議
第5回		第5回	設計演習
概要		概要	平面図の作成---境界確認、ゾーニング
第6回		第6回	設計演習
概要		概要	平面図の作成---（動線、給排水）
第7回		第7回	設計演習
概要		概要	平面図の作成---（ガレージ、門・塀・フェンス）
第8回		第8回	設計演習
概要		概要	立面図の作成
第9回		第9回	設計演習
概要		概要	断面図の作成
第10回		第10回	設計演習
概要		概要	詳細図の作成 ①
第11回		第11回	設計演習
概要		概要	詳細図の作成 ②
第12回		第12回	設計演習
概要		概要	透視図の作成（表現と描法）
第13回		第13回	設計演習
概要		概要	凡例作成・数量計算、積算
第14回		第14回	プレゼンテーション ①
概要		概要	プレゼンデータ作成
第15回		第15回	プレゼンテーション ②
概要		概要	プレゼン発表会・意見交換・評価

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202302

科目名	景観デザイン			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	松田 泰行		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

身の周りの空間から国土空間までの多様な空間や地域を対象として、ランドスケープデザインの思想展開とともに実務紹介を通して、ランドスケープデザインの手法や技術について学ぶ。問題解決法の基本プロセスを学ぶ。空間表現へのアプローチとして、敷地特性の把握、空間構成の組み立て、素材特質の理解、空間表現の手法について学ぶ。既存公園緑地調査等により、デザインプロセスとランドスケープデザインの構成手法を習得できる。

教科書・参考書名 ゼロから学ぶ土木の基本 景観とデザイン

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	40%	○	○			
小テスト						
課題	30%		○	○	○	
プレゼンテーション	20%			○	○	○
グループワーク						
授業での姿勢	10%	○				○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	ランドスケープしごと分類	第1回	
概要	ランドスケープデザイナーの視点を理解する	概要	
第2回	自然の風景美や歴史的風景を保全する	第2回	
概要	自然に対して適切な人為を継続的に加える仕組みを知る	概要	
第3回	豊かな生活の風景を形成する	第3回	
概要	まちづくりのためには建築・土木分野等の協働がが必要	概要	
第4回	人々が集う空間をデザインする	第4回	
概要	屋外スポットを整備する事の重要性を理解する	概要	
第5回	人々が憩う公園をデザインする	第5回	
概要	都市公園を時代のニーズに合わせて整備する事を体系的に理解する	概要	
第6回	植物、水、石などをデザインし、共生の空間を創生する	第6回	
概要	様々な素材をデザインして風景を創り出せることを理解する	概要	
第7回	計画・設計のプロセス	第7回	
概要	実際の設計の進め方　調査・分析、企画立案	概要	
第8回	計画・設計のプロセス	第8回	
概要	土地利用計画　導入機能・空間構成・敷地造成	概要	
第9回	計画・設計のプロセス	第9回	
概要	イメージプランの作成　施設計画・植栽計画・設備計画	概要	
第10回	設計演習	第10回	
概要	実際の敷地を与え基本設計を行う	概要	
第11回	設計演習	第11回	
概要	実際の敷地を与え基本設計を行う	概要	
第12回	設計演習	第12回	
概要	実際の敷地を与え基本設計を行う	概要	
第13回	設計演習	第13回	
概要	実際の敷地を与え基本設計を行う	概要	
第14回	設計演習	第14回	
概要	実際の敷地を与え基本設計を行う	概要	
第15回	設計の説明	第15回	
概要	（プレゼンテーション）	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202303

科目名	環境緑化デザイン			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	小林 卓司		
				実務経験および関連資格	技術士（建設部門－都市及び地方計画）。建設コンサルタントの技術者として都市計画、まちづくり、造園設計等の実務経験（約20年）。		

授業の目標・ねらい

植物の特性や機能を中心に、環境への負荷低減と自然と共存できる外部空間を創出するための計画・設計の方法論を身につける。
植物や環境に配慮した造園資材の使い方の実例に学びし、今後の造園設計施工において環境配慮と癒しの空間づくりを実践できるように努める。

教科書・参考書名	

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○			
小テスト						
課題	40%	○	○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	葉・花・実・樹皮と植栽テクニック
概要		概要	テキストの概観、緑の五大要素
第2回		第2回	植栽知識
概要		概要	石井修の仕事、植物の気候調節効果
第3回		第3回	デザインのための植物基礎知識、トラブル対策
概要		概要	植物の選択、枯死・病虫害、近隣トラブル
第4回		第4回	植物の流通・入手方法、造園業界について
概要		概要	建設物価、業種ごとの特徴
第5回		第5回	プランニング基礎知識-1
概要		概要	課題 ： 敷地調査、ゾーニング
第6回		第6回	プランニング基礎知識-2
概要		概要	課題 ： 植栽計画図
第7回		第7回	プランニング基礎知識-3
概要		概要	課題 ： プレゼンテーション
第8回		第8回	建物用途別の植栽設計セオリー
概要		概要	集合住宅、ヒーリングガーデン
第9回		第9回	環境緑化テクニック-1
概要		概要	植栽の基本配植、環境に対応し環境を活用する植栽
第10回		第10回	環境緑化テクニック-2
概要		概要	植栽の機能、特殊環境に対応する植栽、テーマのある植栽
第11回		第11回	環境緑化テクニック-3
概要		概要	屋上・壁面緑化の設計 土壌、排水、植栽、灌水
第12回		第12回	環境緑化テクニック-4
概要		概要	課題 ： 緑の形態を活かすテクニック
第13回		第13回	環境緑化テクニック-5
概要		概要	課題 ： 緑の機能を活かすテクニック
第14回		第14回	環境緑化テクニック-6
概要		概要	課題 ： 緑の環境を活かすテクニック
第15回		第15回	環境緑化テクニック-7
概要		概要	課題 ： 緑の空間を活かすテクニック

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号:　G1202308

科目名	積算			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	1単位	担当教員	中安 哲男		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

積算は事業執行プロセスの一過程であり、現地条件を考慮しつつ施工計画を勘案し、設計図書に示される工事目的物を完成させるために必要な工事費（材料費・労務費・仮設費）を算定する作業である。積算方式と工事費の構成を理解したうえ、演習を重ねることにより積算実務ができるようになる。設計科目の演習では図面作成だけに終わらず、凡例作成（数量計算）積算へとつなげたい。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○			
小テスト						
課題	40%	○				
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	積算の意義
概要		概要	事業執行プロセスの一過程（工事費算定作業）
第2回		第2回	積算方式
概要		概要	図面の役割 ・ 施工経験と積算作業
第3回		第3回	工事費の構成
概要		概要	直接工事費と間接工事費
第4回		第4回	数量計算
概要		概要	設計図書・施工計画書に基づく数量算出（施工・材料・労務）
第5回		第5回	設計価格と実行予算
概要		概要	公共工事の予定価格規定、実行予算作成の留意点
第6回		第6回	演習
概要		概要	数量計算書作成
第7回		第7回	演習
概要		概要	価格調査（単価と歩掛）
第8回		第8回	演習
概要		概要	植栽工事の積算　1
第9回		第9回	演習
概要		概要	植栽工事の積算　2
第10回		第10回	演習
概要		概要	公園工事（園路・広場）の積算
第11回		第11回	演習
概要		概要	公園工事（修景施設）の積算
第12回		第12回	演習
概要		概要	公園工事（遊戯施設）の積算
第13回		第13回	演習
概要		概要	公園工事（管理施設）の積算
第14回		第14回	演習
概要		概要	公園工事（便益施設）の積算
第15回		第15回	まとめ
概要		概要	復習

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202322

科目名	コンピュータ演習Ⅰ			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	窪田 彩音		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

コンピュータによる造園、園芸の各分野への活用及び利用方法を理解する。
企画・提案から図面作成までの作業をコンピュータを道具として使いこなす為の基礎的な知識と技術の習得に努める。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	30%	○	○			
小テスト						
課題	30%	○	○			
プレゼンテーション	10%	○	○		○	
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	ガイダンス	第1回	
概要	造園、園芸の各分野への活用及び利用方法	概要	
第2回	Word基礎①	第2回	
概要	文書の作成・グラフィック機能	概要	
第3回	Word基礎②	第3回	
概要	表のある文書の作成	概要	
第4回	Word演習	第4回	
概要	植栽管理報告書の作成	概要	
第5回	Excel基礎①	第5回	
概要	データ入力・表作成・関数入力	概要	
第6回	Excel基礎②	第6回	
概要	グラフ作成・データ分析	概要	
第7回	Excel演習	第7回	
概要	見積書の作成	概要	
第8回	PowerPoint基礎①	第8回	
概要	プレゼンテーションの作成	概要	
第9回	PowerPoint基礎②	第9回	
概要	スライドショーの実行	概要	
第10回	PowerPoint演習	第10回	
概要	庭園見学レポートのプレゼンテーションの作成	概要	
第11回	PowerPoint演習	第11回	
概要	庭園見学レポートのプレゼンテーションの発表	概要	
第12回	アプリ間のデータ共有	第12回	
概要	Word・Excel・PowerPoint間のデータ共有の仕方	概要	
第13回	AutoCAD基礎①	第13回	
概要	基本的な作図方法	概要	
第14回	AutoCAD基礎②	第14回	
概要	寸法・文字の入力	概要	
第15回	AutoCAD演習	第15回	
概要	個人邸図面の作成	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202309

科目名	コンピュータ演習Ⅱ			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	窪田 彩音		
				実務経験および関連資	設計および施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。2級造園施工管理技士、2級エクステリアプランナー		

授業の目標・ねらい

学びの前提としてコンピュータによる造園、園芸分野への活用及び利用方法を理解する。企画・提案から図面作成までの作業をパソコンを道具として使いこなせるよう具体的な事例の提示を受け、演習を重ねることにより習得できるようになる。

教科書・参考書名	

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	30%	○	○		○	
小テスト						
課題	50%	○	○		○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%		○	○		○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	CADソフト（AutoCAD）導入のメリット
概要		概要	既設ﾌｧｲﾙの開き方と新規ﾌｧｲﾙの作成から保存まで
第2回		第2回	AutoCADの基本設定
概要		概要	基本的な作図方法をマスターする
第3回		第3回	AutoCADの基本設定
概要		概要	図形を作図するコマンドの理解
第4回		第4回	AutoCADによる作図
概要		概要	公園図面の作成
第5回		第5回	AutoCADによる作図
概要		概要	ポケット広場平面図の作成
第6回		第6回	AutoCADによる作図
概要		概要	住宅外構図の作成
第7回		第7回	AutoCADによる作図
概要		概要	公園計画図への着色　計画平面図完成
第8回		第8回	CGソフト（SketchUp）導入のメリット
概要		概要	基本的な作図方法をマスターする
第9回		第9回	SketchUpの基本設定
概要		概要	基本的な作図方法をマスターする
第10回		第10回	SketchUpによる作図
概要		概要	公園のスケッチ作成
第11回		第11回	SketchUpによる作図
概要		概要	ポケット広場のスケッチ作成
第12回		第12回	SketchUpによる作図
概要		概要	住宅外構のスケッチ作成
第13回		第13回	設計演習
概要		概要	手書き図面からCAD図面への展開
第14回		第14回	設計演習
概要		概要	計画平面図の作成（施設・植栽）
第15回		第15回	設計演習
概要		概要	スケッチ作成

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202304

科目名	CAD・CG演習			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	窪田 彩音・松田 泰行		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

公共事業に関する成果品を電子納品するための技術基準を学ぶ（CAD製図基準の理解）
設計図、施工図を読み取る力をつけるためには、図面作成演習が必要。コンピュータに支援させたデザインの効果的な利用法を習得することにより作品表現能力を向上させることができる。計画図、施工図等の基本的な知識の学習と平行して,空間構成の基本的な方法を学び、併せて基本的なディテール、製図法等の作成技術の習得に努める。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	30%	○	○			
小テスト						
課題	50%		○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%		○			○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	CAD製図基準とは	第1回	CAD製図基準での図面作成・構造図
概要	基本的な構成を理解する	概要	（構造図用画層構成）
第2回	CAD製図基準の認知度	第2回	構造図の作成
概要	土木・造園の中で使われ方	概要	（擁壁・石積等）
第3回	CAD製図基準での図面作成	第3回	構造図の作成
概要	画層構成・各種図面用	概要	（給水・電気・排水等）
第4回	CAD製図基準での図面作成	第4回	構造図の作成
概要	画層の利用	概要	（舗装・縁石等）
第5回	CAD製図基準での図面作成	第5回	構造図の作成
概要	（工種ごとに画層を分けて作成していく）造成工	概要	（雑工作物：ベンチ・サイン・四阿等）
第6回	CAD製図基準での図面作成	第6回	構造図の作成
概要	（工種ごとに画層を分けて作成していく）割付図	概要	（植栽工：支柱・土壌改良等）
第7回	CAD製図基準での図面作成	第7回	CGソフト（SketchUp）による作図
概要	（工種ごとに画層を分けて作成していく）排水設備工	概要	フレームの設定
第8回	CAD製図基準での図面作成	第8回	CGソフト（SketchUp）による作図
概要	（工種ごとに画層を分けて作成していく）電気・給水設備工	概要	添景の設置
第9回	CAD製図基準での図面作成	第9回	CGソフト（SketchUp）による作図
概要	（工種ごとに画層を分けて作成していく）園路広場工、雑工作	概要	構図の設定
第10回	CAD製図基準での図面作成	第10回	CGソフト（SketchUp）による作図
概要	（工種ごとに画層を分けて作成していく）植栽工	概要	全体構図の設定
第11回	CAD製図基準での図面作成	第11回	ランドスケープデザイン演習での計画図面をCAD化
概要	（工種ごとの構造物の数量を求積していく）設備工	概要	ベースとなる平面図の作成
第12回	CAD製図基準での図面作成	第12回	ランドスケープデザイン演習での計画図面をCAD化
概要	（工種ごとの構造物の数量を求積していく）園路広場工	概要	計画平面図の作成
第13回	CAD製図基準での図面作成	第13回	ランドスケープデザイン演習での計画図面をCAD化
概要	（工種ごとの構造物の数量を求積していく）園路広場工	概要	計画断面図の作成
第14回	CAD製図基準での図面作成	第14回	ランドスケープデザイン演習での計画図面をCAD化
概要	（工種ごとの構造物の数量を求積していく）植栽工	概要	植栽平面図の作成
第15回	まとめ	第15回	まとめ
概要	（工種ごとに図面を整理、発注図面としてまとめる）	概要	発注図面としてまとめる

修成建設専門学校

2023年度授業計画(シラバス)

参照番号: G1202310

科目名	情報処理			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	1単位	担当教員	廣末 光一		
				実務経験および関連資格	設計・監理・施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士 造園施工監理技術者		

授業の目標・ねらい

①グループで、最近の地域・社会における造園・園芸関連、環境・社会情勢等において興味深い事例(情報収集)をまとめてプレゼンテーションを行うことにより、グループ力・レポート力・プレゼンテーション力能力を養うことができます。
②パソコン等などのOs機器を扱うことで、機器の操作・情報収集処理能力の向上につながります。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	20%	○	○	○	○	
小テスト						
課題	20%	○	○	○	○	
プレゼンテーション	20%		○	○	○	○
グループワーク	20%	○	○	○	○	○
授業での姿勢	20%					○
その他( )						
その他( )						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回		第1回	課題及びレポート書式・プレゼンテーションの仕様等の説明
概要		概要	テーマの選出とグループ割
第2回		第2回	テーマの絞り込み レポート書式の作成
概要		概要	課題の情報収集とレポート作成
第3回		第3回	レポート書式の作成
概要		概要	課題の情報収集とレポート作成
第4回		第4回	課題の情報収集とレポート・プレゼン作成
概要		概要	
第5回		第5回	課題の情報収集とレポート・プレゼン作成
概要		概要	
第6回		第6回	課題の情報収集とレポート・プレゼン作成
概要		概要	第1回レポート提出
第7回		第7回	第1回プレゼンテーション
概要		概要	グループミーティング(T.B.M)
第8回		第8回	課題の情報収集とレポート・プレゼン作成
概要		概要	
第9回		第9回	課題の情報収集とレポート・プレゼン作成
概要		概要	
第10回		第10回	課題の情報収集とレポート・プレゼン作成
概要		概要	レポート提出 グループミーティング(T.B.M)
第11回		第11回	第2回プレゼンテーション
概要		概要	課題の情報収集とレポート作成
第12回		第12回	課題の情報収集とレポート・プレゼン作成
概要		概要	
第13回		第13回	課題の情報収集とレポート・プレゼン作成
概要		概要	レポート提出
第14回		第14回	課題の情報収集とプレゼン作成
概要		概要	第3回プレゼンテーション グループミーティング(T.B.M)
第15回		第15回	グループミーティング(T.B.M)
概要		概要	重点内容のまとめ 試験の傾向と対策

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202311

科目名	造園施工Ⅰ			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	3単位	担当教員	河盛 泰生		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

学習の前提として造園施工の特性を理解する（特に植栽は地域の気候・土壌・植生等、自然環境の把握が必須となる）植栽技法及び植物管理（育成・維持・抑制）の基礎を講義、見学、実習とバランスよく学び、施工・施工管理・計画・設計に応用できるようになる。

造園施工管理（技術編）［改訂28版］

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○	○		
小テスト						
課題	30%	○	○			○
プレゼンテーション						
グループワーク	10%		○		○	○
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	Ⅰ：植栽・・・・・自然環境	第1回	
概要	地域自然環境（気象・地形・植生・土壌）の把握	概要	
第2回	・・・・・土壌の性質と植栽基盤	第2回	
概要	土壌性質（腐食・PH・硬度・養分・乾湿）と土壌改良	概要	
第3回	・・・・・植栽工事　①樹木特性と植栽機能	第3回	
概要	樹木の分類、物理・心理・視覚的機能	概要	
第4回	・・・・・植栽工事　②樹木の規格	第4回	
概要	公共用緑化樹木の品質寸法規格と品質及び寸法の判定	概要	
第5回	・・・・・植栽工事　③植えつけ要領	第5回	
概要	掘り取り、運搬、植えつけ、支柱取り付け、水鉢、養生	概要	
第6回	・・・・・樹木移植	第6回	
概要	移植時期、移植要領（溝掘式根回し・断根式根回し）	概要	
第7回	・・・・・地被植物	第7回	
概要	芝生の分類、日本芝と西洋芝の比較、芝生の造成と管理	概要	
第8回	・・・・・自然育成施設	第8回	
概要	施設づくりの留意点、工事工種体系、自然育成工	概要	
第9回	Ⅱ：管理・・・・・造園管理の概要	第9回	
概要	管理目的と計画条件	概要	
第10回	・・・・・植物管理①	第10回	
概要	植物管理の段階と内容（養生・育成・維持・抑制）	概要	
第11回	・・・・・植物管理②	第11回	
概要	植物管理の年間計画と管理作業実施	概要	
第12回	・・・・・植物管理③	第12回	
概要	樹木管理（剪定刈込種類・時期・技法）	概要	
第13回	・・・・・植物管理④	第13回	
概要	樹木管理（施肥・病害虫防除・除草・灌水）	概要	
第14回	・・・・・植物管理⑤	第14回	
概要	芝生管理（刈込・施肥・目土・病害虫防除・エアレーション）	概要	
第15回	・・・・・植物管理⑥	第15回	
概要	草花管理（灌水・施肥・病害虫防除・除草・摘心・摘花）	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202305

科目名	造園施工Ⅱ			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	3単位	担当教員	河盛 泰生		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

公園・庭園に関する構造物や施設施工のみならず、他の科目と連携し図面・積算・維持管理の要点を学習しながら、施工に至るプロセスを理解し、良識ある施工管理ができるようになる。

教科書・参考書名 造園施工管理（技術編）［改訂28版］

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○	○		
小テスト						
課題	20%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク	20%		○		○	○
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回		第1回	Ⅰ：造園施設・・・・・分類と内容
概要		概要	施設の分類と種類、設置基準と基本的留意点
第2回		第2回	・・・・・園路・広場工
概要		概要	各種材料による舗装構成、階段、石積み擁壁、橋、排水計画
第3回		第3回	・・・・・修景施設工
概要		概要	築山、垣根、噴水、滝・流れ・池・護岸の種類と施工留意点
第4回		第4回	・・・・・休養施設工
概要		概要	施設の種類と計画上の留意点、休憩所・ベンチ
第5回		第5回	・・・・・遊戯施設工①
概要		概要	遊びの形態と遊具の種類、遊戯施設の計画と安全確保
第6回		第6回	・・・・・遊戯施設工②
概要		概要	ブランコ・滑り台・砂場・複合系遊具、健康器具系施設、維持管理
第7回		第7回	・・・・・屋外運動施設工
概要		概要	陸上競技場、球戯場、テニス・ゲートボールコート、プール
第8回		第8回	・・・・・教養施設工
概要		概要	植物園、温室、市民農園、自然生態園、野外ステージ、茶庭
第9回		第9回	・・・・・便益施設工
概要		概要	便所、水飲場、手洗場、駐車場、時計台
第10回		第10回	・・・・・管理施設工
概要		概要	給排水、電気照明、門・柵、標識、くず入れ、管理事務所
第11回		第11回	・・・・・バリアフリーによる施設整備
概要		概要	整備の推進とユニバーサルデザインの有効性
第12回		第12回	・・・・・防災公園としての施設
概要		概要	防災（避難地・避難路・延焼防止帯、復旧復興等に関する機能）
第13回		第13回	Ⅱ：造園工事・・・・・施工用・管理用機械・器具
概要		概要	植栽工事・管理に使用される機械・器具の種類と使用法
第14回		第14回	Ⅲ：設計図書と施工計画書
概要		概要	（図面・表示記号・仕様書）（実行予算・工程表・枯れ補償）
第15回		第15回	Ⅳ：・・・・・まとめ
概要		概要	復習

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202312

科目名	伝統技術			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	中安 哲男		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

失われつつある日本庭園の伝統技術を理解するとともに、その素晴らしさを認識し、技術の背景となる世界観を探ることにより伝統を復活・継承できるようになる。 庭園見学時は時代背景を把握し、自分なりに作庭者の深層心理を探り設計分析することを心掛け、後の設計に活かしたい。

教科書・参考書名	日本庭園の伝統施設鑑賞と技法の基礎知識

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○		○	○	
小テスト						
課題	30%		○	○		
プレゼンテーション						
グループワーク	10%					○
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	庭園様式の変遷
概要		概要	古代から現代に至る時代背景と庭園様式（伝統施設）
第2回		第2回	庭園施設・・・石組
概要		概要	庭石の種類、石組の構成、庭石の据え方と施工要領
第3回		第3回	庭園施設・・・庭池
概要		概要	池形の変遷、池の造形、池辺の配石・役石、池の基礎護岸
第4回		第4回	庭園施設・・・庭滝と流れ
概要		概要	滝の種類、滝石組と役石、流れの護岸と役石、流れの工法
第5回		第5回	庭園施設・・・築山と野筋
概要		概要	山形・野原の自然景観を造る技法、築山と滝、築山の石組
第6回		第6回	庭園施設・・・飛び石
概要		概要	飛び石材料の条件、石の据え方・役石、石の配列・施工要領
第7回		第7回	庭園施設・・・延段と敷石
概要		概要	延段・敷石の構造と施工要領、延段の意匠、敷石の種類
第8回		第8回	庭園施設・・・蹲踞と縁先き手水鉢
概要		概要	蹲踞の起源、蹲踞の形式・構成、縁先き手水鉢の起源・変遷
第9回		第9回	庭園施設・・・石灯籠
概要		概要	灯籠の起源、灯籠の種類・構成と設置場所、据え付け要領、
第10回		第10回	庭園施設・・・庭垣
概要		概要	庭垣の定義、垣根の分類・種類、庭垣の工法、袖垣の種類
第11回		第11回	茶庭の施設
概要		概要	露地の構成、茶会と施設、茶庭の植栽
第12回		第12回	庭園建築・庭橋
概要		概要	庭園建築の種類と役割、庭橋の変遷と種類、橋の役石
第13回		第13回	庭園施設・・・沓脱石、井戸、敷砂、僧都、霜・雪除け・雪吊り
概要		概要	意匠、構成、施工、用と景
第14回		第14回	庭園植栽
概要		概要	植栽樹木の種類・役木、竹・笹・苔・下草の種類と役割
第15回		第15回	名園探究・・・設計分析
概要		概要	飛鳥、奈良、平安、鎌倉、室町戦国、安土桃山、江戸、近代

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202306

科目名	造園法規			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	中安 哲男		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

設計・施工の学習のみならず造園に関係する法令の知識を習得し、良識ある造園技術者になる。 学んだ知識は資格取得に役立てる。

教科書・参考書名	造園施工管理（法規編）［改訂28版］

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	70%	○	○			
小テスト	20%	○				
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	法令に関する基礎知識	第1回	
概要	法令の種類と効力、法律・政令・省令・条例	概要	
第2回	Ⅰ:労働関係法令・・・・・労働基準法	第2回	
概要	労働基準法の要点（概要）	概要	
第3回	・・・・・労働安全衛生法①	第3回	
概要	労働安全衛生法の要点（概要）	概要	
第4回	・・・・・労働安全衛生法②	第4回	
概要	安全衛生管理体制、安全衛生教育・就業制限	概要	
第5回	Ⅱ:建設関係法令 ・・・・・建設業法①	第5回	
概要	建設業法の現状、法の目的・用語の定義	概要	
第6回	・・・・・建設業法②	第6回	
概要	建設業の許可制度の概要、請負契約、施工技術の確保	概要	
第7回	Ⅲ:都市計画関係法令・・・・・都市計画法	第7回	
概要	都市計画の目的・定める内容、開発行為等の規制	概要	
第8回	・・・・・都市公園法①	第8回	
概要	都市公園の現状、公園の機能・タイプ、立体都市公園	概要	
第9回	・・・・・都市公園法②	第9回	
概要	公園の定義・設置基準・施設の定義、特許使用、公園台帳	概要	
第10回	・・・・・都市緑地法	第10回	
概要	基本計画、緑地保全地域と行為規制、緑化率、緑地協定	概要	
第11回	・・・・・古都における歴史的風土の保存	第11回	
概要	法律の対象「古都」と区域の指定、行為規制、 景観法	概要	
第12回	・・・・・生産緑地法	第12回	
概要	生産緑地存続要件、保全（管理、継続義務、農業委員会）	概要	
第13回	・・・・・都市の美観風致維持（樹木保存	第13回	
概要	保存樹等の指定基準、保存樹・保存樹林の指定状況	概要	
第14回	・・・・・土地区画整理法	第14回	
概要	土地区画整理事業の仕組み・特色、公共用地の帰属管理	概要	
第15回	復習	第15回	
概要		概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202307

科目名	造園施工計画学			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	1単位	担当教員	廣末 光一		
				実務経験および関連資格	設計・監理・施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士 造園施工監理技術者		

授業の目標・ねらい

①造園施工管理における品質管理、工程管理、労務管理、原価管理、安全管理などの基本的知識を習得することができます。
②造園施工管理の基礎知識を習得することで、造園に関わる業務や国家資格・民間資格の取得に役立ちます。
③造園施工管理における基本的知識を基に施工計画書を作成することができます。

教科書・参考書名	特になし

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	80%	○	○	○	○	○
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	講義内容の概要説明
概要		概要	施工管理　施工管理の概要
第2回		第2回	品質管理、工程管理、
概要		概要	
第3回		第3回	労務管理、原価管理、安全管理
概要		概要	
第4回		第4回	施工計画
概要		概要	
第5回		第5回	施工計画書作成
概要		概要	
第6回		第6回	施工計画書作成
概要		概要	
第7回		第7回	施工計画書作成
概要		概要	
第8回		第8回	施工計画書作成
概要		概要	
第9回		第9回	施工計画書作成
概要		概要	
第10回		第10回	施工計画書作成
概要		概要	
第11回		第11回	施工計画書作成
概要		概要	
第12回		第12回	施工計画書作成
概要		概要	
第13回		第13回	施工計画書作成
概要		概要	
第14回		第14回	施工計画書作成
概要		概要	
第15回		第15回	施工計画書作成
概要		概要	提出

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202308

科目名	造園施工管理			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	廣末 光一		
				実務経験および関連資格	設計・監理・施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士 造園施工監理技術者		

授業の目標・ねらい

①造園施工管理における品質管理、工程管理、労務管理、原価管理、安全管理などの基本的知識を習得することができます。
②造園施工管理の基礎知識を習得することで、造園に関わる業務や国家資格・民間資格の取得に役立ちます。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	30%	○	○	○	○	
小テスト	30%	○	○			
課題	10%	○	○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	講義内容の概要説明	第1回	講義内容の概要説明　工程管理のまとめ
概要	施工管理の概要	概要	ネットワーク手法の基本
第2回	設計図書	第2回	品質管理・労務管理のまとめ
概要	図面の種類	概要	
第3回	公園緑地工事仕様書	第3回	労務管理・安全管理のまとめ
概要		概要	
第4回	工事工種の体系化	第4回	原価管理のまとめ
概要	積算方式	概要	出来形及び品質規格の確保と造園施設管理の要点-1
第5回	枯補賞と植樹保険	第5回	出来形及び品質規格の確保と造園施設管理の要点-2
概要		概要	
第6回	施工計画	第6回	施工標準概説-1
概要		概要	施工管理フロー　敷地造成工事
第7回	工程管理	第7回	施工標準概説-2
概要	前回までのまとめ	概要	植栽工事、縁石・囲障工事、施工管理写真他
第8回	ネットワーク手法の基本	第8回	施工標準概説-3
概要		概要	工程表(バーチャート、ネットワーク他)
第9回	品質管理	第9回	施工標準概説-3-02
概要		概要	工程表(バーチャート、ネットワーク他)
第10回	原価管理	第10回	施工標準概説-3-03
概要		概要	工程表(バーチャート、ネットワーク他)
第11回	安全管理	第11回	施工標準概説-3-04
概要		概要	工程表(バーチャート、ネットワーク他)
第12回	労務管理	第12回	施工標準概説-3-05
概要		概要	工程表(バーチャート、ネットワーク他)
第13回	建設副産物管理	第13回	施工標準概説-3-06
概要		概要	工程表(バーチャート、ネットワーク他)
第14回	現場管理組織の編成と施工体制台帳・諸官庁への届け出	第14回	施工標準概説-4
概要	前回までのまとめ	概要	ヒューマンエラー
第15回	重点内容のまとめ　試験の傾向と対策	第15回	重点内容のまとめ　試験の傾向と対策
概要		概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202313

科目名	都市計画Ⅰ			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	3単位	担当教員	小林 卓司		
				実務経験および関連資格	技術士（建設部門ー都市及び地方計画）。建設コンサルタントの技術者として都市計画、まちづくり、造園設計等の実務経験（約20年）。		

授業の目標・ねらい

造園の設計・施工・管理に携わる者が持つべき、都市計画とまちづくりの基本知識を得ることを目的とする。
「都市計画Ⅰ」では、地域地区などの都市計画法の基本と交通、水道など都市インフラについて学び、都市の構造に対する理解を深めることで、自分たちが関わる仕事についての意識を高める。

教科書・参考書名 よくわかる最新都市計画の基本と仕組み―新しい「都市計画とまちづくり」の教科書

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○	○			
小テスト						
課題	30%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回		第1回	都市計画とは何か
概要		概要	都市の成立と拡大、都市計画の思想について
第2回		第2回	都市計画法
概要		概要	法定都市計画の概要、都市計画法および関連法
第3回		第3回	都市計画の調査と立案
概要		概要	都市計画区域、市街化区域、市街化調整区域
第4回		第4回	土地利用
概要		概要	地域地区
第5回		第5回	土地利用
概要		概要	用途地域の規制、都市施設
第6回		第6回	土地利用
概要		概要	実際の都市計画図を用いた演習
第7回		第7回	都市の再開発
概要		概要	市街地開発、土地区画整理事業
第8回		第8回	都市の再開発
概要		概要	駅前再開発、地区計画、景観法
第9回		第9回	都市交通
概要		概要	都市交通の特質と課題、人の動きと都市交通
第10回		第10回	都市交通
概要		概要	都市交通施設、都市交通計画
第11回		第11回	都市交通
概要		概要	道路構造令、自転車道、共同溝
第12回		第12回	供給・処理移設
概要		概要	上水道、下水道
第13回		第13回	供給・処理移設
概要		概要	廃棄物処理
第14回		第14回	大阪のまちづくり
概要		概要	大阪の地理誌、水を活かしたまちづくり
第15回		第15回	まとめ
概要		概要	都市計画の概観、現在の課題

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202309

科目名	都市計画Ⅱ			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	1単位	担当教員	小林 卓司		
				実務経験および関連資格	技術士（建設部門－都市及び地方計画）。建設コンサルタントの技術者として都市計画、まちづくり、造園設計等の実務経験（約20年）。		

授業の目標・ねらい

造園の設計・施工・管理に携わる者が持つべき、都市計画とまちづくりの基本知識を得ることを目的とする。
「都市計画Ⅱ」では、防災、歴史資源の活用、市民参画、コンパクトシティなど現代のまちづくりが直面する課題を俯瞰し、技術者としての視野を広げるとともに、環境にやさしい美しいまちづくりに貢献できる造園技術者を目指す。

教科書・参考書名 よくわかる最新都市計画の基本と仕組み―新しい「都市計画とまちづくり」の教科書

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	60%	○	○		○	
小テスト						
課題	30%	○	○		○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	都市計画の概観	第1回	
概要	都市計画法と関連法についての復習	概要	
第2回	環境とまちづくり	第2回	
概要	まちづくりにおける自然環境、環境保全	概要	
第3回	環境とまちづくり	第3回	
概要	地球環境問題	概要	
第4回	防災とまちづくり	第4回	
概要	防災意識の変化、戦後の防災と取り組み	概要	
第5回	防災とまちづくり	第5回	
概要	都市防災対策の考え方、防災まちづくりの課題と新たな傾向	概要	
第6回	防災とまちづくり	第6回	
概要	実際のハザードマップを用いた演習	概要	
第7回	歴史とまちづくり	第7回	
概要	文化財保護法とまちづくり、歴史まちづくり法	概要	
第8回	歴史とまちづくり	第8回	
概要	伝統的建造物群保存地区、景観法	概要	
第9回	新たなまちのかたち	第9回	
概要	住みやすいまち、バリアフリーとユニバーサルデザイン	概要	
第10回	新たなまちのかたち	第10回	
概要	ウォーカブルタウン、コンパクトシティ	概要	
第11回	新たなまちのかたち	第11回	
概要	スマートシティ、サイバーシティ	概要	
第12回	まちづくりと市民参加	第12回	
概要	法定都市計画からまちづくりへ	概要	
第13回	まちづくりと市民参加	第13回	
概要	市民参加の手法、事例	概要	
第14回	まちづくりと市民参加	第14回	
概要	ワークショップによる演習	概要	
第15回	復興まちづくり	第15回	
概要	災害からの復興と地域再生	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202314

科目名	造園技能実習			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	伊藤 慶太		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

講義や見学で学んだ庭園・公園の細部意匠及び施工要領について、実習で技能を体得し実際に庭園を思案作庭することにより造形力を養い資格（造園技能士）取得できるように努める。 体得した技能は他科目の実習でも活かすことができる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○	○	○	
小テスト						
課題	20%	○				
プレゼンテーション						
グループワーク	20%					○
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	整地、植栽基盤	第1回	
概要	発生土砂の利用、植栽基盤整備、透水・耕耘・改良、盛土	概要	
第2回	造り方（丁張）	第2回	
概要	丁張の設置間隔・高低・勾配を表示、使用材料と設置道具	概要	
第3回	竹垣製作　①	第3回	
概要	四つ目垣---柱建込み、胴縁の取り付け・立て子取り付け	概要	
第4回	竹垣製作　②	第4回	
概要	四つ目垣---復習、 苗木植栽	概要	
第5回	縁石・敷石・飛び石の敷設　①	第5回	
概要	位置出し、水糸・こうがい板等の使用法、敷設要領	概要	
第6回	縁石・敷石・飛び石の敷設　②	第6回	
概要	敷設復習	概要	
第7回	植栽と整地	第7回	
概要	低木・草花・地被類の植栽要領、地均し、工具の利用法	概要	
第8回	樹木剪定	第8回	
概要	忌み枝除去、剪定技法、刈込技法	概要	
第9回	景石	第9回	
概要	景石配置と施工要領、石と樹木・下草の配置バランス、	概要	
第10回	蹲踞・僧都・築山	第10回	
概要	蹲踞の役石配置、僧都製作、築山の施工要領	概要	
第11回	作庭・・・①	第11回	
概要	3級造園技能検定（実技試験課題）　使用工具	概要	
第12回	作庭・・・②	第12回	
概要	3級造園技能検定（実技試験課題）	概要	
第13回	作庭・・・③	第13回	
概要	2級造園技能検定（実技試験課題）	概要	
第14回	作庭・・・④	第14回	
概要	2級造園技能検定（実技試験課題）	概要	
第15回	樹木の名称	第15回	
概要	造園技能検定（要素試験の概要と樹種名の判定）	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202315

科目名	園芸実習			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	坂 一朗		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

花卉園芸について全般的に学ぶと共に多くの園芸植物を育成し、それを用いてコンテナ植栽や花壇植栽を行い、多種多様な園芸植物の知識を深め造園を行う上でその取り入れ方や植栽技術、園芸技法の実務を習得できる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	20%	○	○			
小テスト						
課題	20%	○	○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク	30%			○	○	○
授業での姿勢	30%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	草花栽培の基礎①	第1回	コンテナ植栽①
概要	土づくり	概要	単植・植え替え
第2回	草花栽培の基礎②	第2回	コンテナ植栽②
概要	種子繁殖	概要	寄せ植え・植え替え
第3回	草花栽培の基礎③	第3回	四季の園芸植物
概要	栄養繁殖(1)	概要	秋・冬
第4回	草花栽培の基礎④	第4回	草花栽培の基礎①
概要	栄養繁殖(2)	概要	種子繁殖
第5回	草花栽培の基礎⑤	第5回	草花栽培の基礎②
概要	育苗	概要	栄養繁殖(1)
第6回	四季の園芸植物	第6回	草花栽培の基礎③
概要	春・夏	概要	栄養繁殖(2)
第7回	コンテナ植栽①	第7回	草花栽培の基礎④
概要	単植	概要	育苗
第8回	コンテナ植栽②	第8回	コンテナ植栽①
概要	寄せ植え	概要	単植
第9回	花壇デザイン	第9回	コンテナ植栽②
概要	半日陰地の設計演習	概要	寄せ植え
第10回	花壇植栽	第10回	花壇デザイン
概要	半日陰地の植栽	概要	狭小地の設計演習
第11回	洋風植栽	第11回	花壇植栽
概要	ロックガーデンの設計植栽	概要	狭小地の植栽
第12回	和風植栽	第12回	バラの育て方①
概要	坪庭の設計植栽	概要	植え付け・消毒・施肥
第13回	盆栽の定義	第13回	バラの育て方②
概要	ミニ盆栽作り	概要	植え替え・剪定・誘引
第14回	室内園芸①	第14回	ツル植物の育て方
概要	観葉植物の種類と育て方	概要	クレマチス
第15回	室内園芸②	第15回	重点内容のまとめ
概要	アートフラワーの飾り方	概要	試験の傾向と対策

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202316

科目名	環境リテラシー			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	小林 卓司		
				実務経験および関連資格	技術士（建設部門ー都市及び地方計画）。建設コンサルタントの技術者として都市計画、まちづくり、造園設計等の実務経験（約20年）。		

授業の目標・ねらい

ガーデンデザイナーとして必要な、環境を読み解く力（認識・知識・愛着）の獲得を目的とする。
生物多様性と持続可能性に関する知識を取得し、環境問題を身近なものとして認識・対処する意識を培うことをめざす。

教科書・参考書名	さとやま–生物多様性と生態系模様

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○	○	○	
小テスト		○				
課題(授業レポート提出)	40%	○	○	○		
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%	○				○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	人と自然環境を考える。さとやまとは	第1回	
概要	生物多様性の危機	概要	
第2回	サクラソウから見たさとやまの変化－1	第2回	
概要	古代の草原、環境のギャップ	概要	
第3回	サクラソウから見たさとやまの変化－2	第3回	
概要	絶滅危惧種、江戸の園芸文化	概要	
第4回	ヒトの歴史とさとやまの成立－1	第4回	
概要	ヒトの誕生と人類	概要	
第5回	ヒトの歴史とさとやまの成立－2	第5回	
概要	採取から半栽培、稲作へ	概要	
第6回	ヒトの歴史とさとやまの成立－3	第6回	
概要	氾濫原と文明　植生の遷移	概要	
第7回	生物多様性と生態系模様－1	第7回	
概要	材料としての樹木の利用	概要	
第8回	生物多様性と生態系模様－1	第8回	
概要	攪乱と生物多様性	概要	
第9回	生物多様性と生態系模様－2	第9回	
概要	里山の生態系模様　αβγ多様性	概要	
第10回	生物多様性と生態系模様－3	第10回	
概要	田んぼの生物多様性　松枯れ	概要	
第11回	地球規模の生物多様性とさとやまの危機－1	第11回	
概要	外来種問題、 プラネタリー・バウンダリー	概要	
第12回	地球規模の生物多様性とさとやまの危機－2	第12回	
概要	人新世　生態系サービス	概要	
第13回	地球規模の生物多様性とさとやまの危機－3	第13回	
概要	エコロジカルフットプリント　SDG's	概要	
第14回	持続可能な地域社会にむけて－2	第14回	
概要	大阪の地理誌、ホットスポット、レッドリスト	概要	
第15回	持続可能な地域社会にむけて－3	第15回	
概要	まとめ　自然再生の取り組み	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202310

科目名	建設概論			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	窪田 彩音・中安 哲男		
				実務経験および関連資格	設計及び監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

建設業はものづくりを通じて社会を豊かにするもの。現在の地球の姿と自然環境を認識し、造園を職業としての観点から捉え、社会での役割・責務を常に意識し、良識ある技術者として土木や建築と連携しながら、環境に優しい建設業を合い言葉に「持続可能な社会」の形成を目指す一員となる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	40%		○	○		
小テスト						
課題	20%	○	○			
プレゼンテーション	10%				○	
グループワーク	20%			○		○
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回		第1回	建設業の現状と役割
概要		概要	建設投資の動向、建設業の過去・現在・未来
第2回		第2回	建設業の許可
概要		概要	許可制度の概要、許可状況、下請け制度
第3回		第3回	建設工事の施工管理と技術者
概要		概要	施工管理の要素、環境保全管理と建設副産物管理
第4回		第4回	建設業の業種（土木・建築・造園）
概要		概要	各々の「ものづくり」
第5回		第5回	建設業の中の造園
概要		概要	造園工事の特性、造園施工管理と造園技術者の心構え
第6回		第6回	造園の仕事・・・1
概要		概要	庭園と公園、民間工事と公共工事
第7回		第7回	造園の仕事・・・2
概要		概要	植物管理（養生、育成、維持、抑制）、
第8回		第8回	建設業と環境問題・・・1
概要		概要	環境問題の実態（公害問題）（地球環境問題）
第9回		第9回	建設業と環境問題・・・2
概要		概要	環境をめぐる世界の動き、法規制と環境技術
第10回		第10回	建設業と環境問題・・・3
概要		概要	建設業の社会的責任と造園の役割
第11回		第11回	暮らしと環境・・・1
概要		概要	環境調和のまちづくり、エコ住宅
第12回		第12回	暮らしと環境・・・2
概要		概要	まちづくりと緑、自然との共生
第13回		第13回	地球と自然環境・・・1
概要		概要	地球の姿と自然環境、大気・海・川・土壌・森林の役割
第14回		第14回	地球と自然環境・・・2
概要		概要	何が起こっているのか
第15回		第15回	環境を整える造園の仕事
概要		概要	自然保護と緑化推進

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202311

科目名	造園施工特論			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	中安 哲男		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

学科在籍全学生の受験合格を目標と定める「2級造園施工管理技術検定（学科試験）」のサポート科目と捉え、合格に向け、過去の試験問題を徹底分析検討し、併せて他科目で今迄学んだことの復習を重ねることにより確実に合格できるようになる。 2級造園　施工管理技術検定（学科試験）と2級造園技能士の資格取得、並びに精度の高い作図を卒業時の最終到達点と定めたい。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○			
小テスト	40%	○	○			
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	試験概要	第1回	
概要	過去10年間の出題傾向と合格秘訣	概要	
第2回	造園の歴史	第2回	
概要	日本庭園の変遷と様式、作庭時代・背景、代表的な庭園名	概要	
第3回	造園材料①	第3回	
概要	樹木・草花・地被・竹笹の種類と特性	概要	
第4回	造園材料②	第4回	
概要	石材・レンガ・木材・セモント等の名称・種類・性質・用途	概要	
第5回	土壌	第5回	
概要	組成と土性、成分、腐植、土壌改良、植栽基盤	概要	
第6回	植栽施工①	第6回	
概要	樹木の掘取り・運搬・植付け、根回し・移植	概要	
第7回	植栽施工②	第7回	
概要	支柱取付け、日本庭園の役木、芝生、法面緑化	概要	
第8回	植物管理	第8回	
概要	剪定、施肥・病害虫と防除、芝生管理	概要	
第9回	造園施設工①	第9回	
概要	敷地造成・コンクリート工・舗装工・運動施設・遊戯施設	概要	
第10回	造園施設工②	第10回	
概要	造園技法・給排水施設・電気施設・建築	概要	
第11回	施工一般	第11回	
概要	測量、請負契約、設計図書、工事費の構成	概要	
第12回	施工管理	第12回	
概要	施工計画、工程・品質・安全・原価管理、建設副産物	概要	
第13回	関連法規①	第13回	
概要	労働基準法、労働安全衛生法	概要	
第14回	関連法規②	第14回	
概要	建設業法、都市公園法、その他関連法規	概要	
第15回	模擬試験	第15回	
概要	模擬試験と解答	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202312

科目名	プレゼンテーション			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	松田 泰行		
				実務経験および関連資格	技術士（建設部門－都市及び地方計画）。建設コンサルタントの技術者として都市計画、まちづくり、造園設計等の実務経験（約20年）。		

授業の目標・ねらい

設定された課題に対して問題解決のために情報収集を行い、自己の計画を実現するために様々な手段、手法を検討。それを他者へ より分かり易く、スムーズに伝えるための表現方法を身に付ける。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題						
プレゼンテーション	50%	○	○	○	○	
グループワーク	40%	○	○	○	○	○
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	プレゼンテーションの概念	第1回	表現手法-1
概要	プレゼンテーションの意義	概要	コンセプトとターゲット
第2回	自己表現とコミュケーション-1	第2回	表現手法-2
概要	自分を表現する①	概要	色彩、フォント、ビジュアル
第3回	自己表現とコミュケーション-2	第3回	表現手法-3
概要	自分を表現する②	概要	ストーリー展開、組立
第4回	自己表現とコミュケーション-3	第4回	演習①-1
概要	自分を表現する③	概要	提案プラン作成①
第5回	自己表現とコミュケーション-4	第5回	演習①-2
概要	自分を表現する④	概要	提案プラン作成②
第6回	自己表現とコミュケーション-5	第6回	演習①-2
概要	自分を表現する⑤　発表	概要	提案プラン作成③
第7回	共通テーマ	第7回	演習①-3
概要	調査、発表	概要	中間発表
第8回	グループ課題-1	第8回	演習②-1
概要	チーム分け、テーマ決定	概要	表現方法の検討と推敲①
第9回	グループ課題-2	第9回	演習②-2
概要	テーマについて情報収集-1	概要	表現方法の検討と推敲②
第10回	グループ課題-3	第10回	演習②-3
概要	テーマについて情報収集-2	概要	表現方法の検討と推敲③
第11回	グループ課題-4	第11回	演習②-4
概要	テーマについて深堀-1	概要	表現方法の検討と推敲④
第12回	グループ課題-5	第12回	演習③-1
概要	テーマについて深堀-2	概要	発表資料・データ作成①
第13回	グループ課題-6	第13回	演習③-2
概要	プレゼン資料の作成	概要	発表資料・データ作成②
第14回	グループ課題-7	第14回	演習③-3
概要	プレゼン資料の作成	概要	発表資料・データ作成③
第15回	グループ課題-8	第15回	演習③-4
概要	グループ・プレゼンテーション	概要	最終発表

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202313

科目名	樹木保護学			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	廣末 光一		
				実務経験および関連資格	樹木・芝草管理業務の経験を有する教員による講義や演習。農薬管理指導士　1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

①植物に対する興味や関心を高め、樹木を正しく取扱い、身近な環境や生態系を改善するための基礎的な知識を習得できます。
③病害虫により衰退した樹木の調査を行い、その症状等を観察しレポートにまとめ、観察力とレポート力を養うことができます。
③樹木保護の基礎知識を習得することで、造園に関わる業務や国家資格・民間資格の取得に役立てることができます。

教科書・参考書名　図解 樹木の診断と手当て

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	20%	○	○			
小テスト	20%	○				
課題	20%	○	○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク	20%	○	○	○	○	○
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回		第1回	講義内容の概要説明
概要		概要	樹形からわかる木のメッセージ-1
第2回		第2回	樹形からわかる木のメッセージ-2
概要		概要	幹が語る　枝が語る
第3回		第3回	樹形からわかる木のメッセージ-3
概要		概要	根が語る　年輪が語る
第4回		第4回	樹形からわかる木のメッセージ-4
概要		概要	年輪が語る　環境や人の手で変わる樹形
第5回		第5回	樹形からわかる木のメッセージ-まとめ
概要		概要	木の仕組み-概説
第6回		第6回	木の仕組み-1
概要		概要	木の断面を見る　養水分の吸収と光合成産物の転流
第7回		第7回	木の仕組み-2
概要		概要	糖の転流と養分蓄積　落葉で葉を更新する
第8回		第8回	木の仕組み-3
概要		概要	落葉で葉を更新する　病害虫を防御する木のしくみ
第9回		第9回	木の仕組み-まとめ
概要		概要	木の診断と管理方法-概説
第10回		第10回	木の診断と管理方法-1
概要		概要	葉・新梢の診断と手当て
第11回		第11回	木の診断と管理方法-2
概要		概要	枝の診断と手当て　幹・樹皮の診断と手当て
第12回		第12回	木の診断と管理方法-3
概要		概要	幹・樹皮の診断と手当て　根の診断と手当て
第13回		第13回	木の診断と管理方法-4
概要		概要	根の診断と手当て　移植・植付け方法
第14回		第14回	木の診断と管理方法-5
概要		概要	移植・植付け方法　誤った剪定と正しい剪定
第15回		第15回	木の診断と管理方法-まとめ
概要		概要	重点内容のまとめ　試験の傾向と対策

修成建設専門学校

2023年度授業計画(シラバス)

参照番号: G1202317

科目名	農薬学			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	必修	単位数	2単位	担当教員	廣末 光一		
				実務経験および関連資格	樹木・芝草管理業務の経験を有する教員による講義や演習。農薬管理指導士　1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

①農薬の取り扱い(使用目的と使用方法)に関わる基礎知識を習得することができます。
②植物病害虫の症状・予防・対策と特性を理解することで適切な防除方法などの基礎知識を習得することができます。
③農薬・病害虫防除の基礎知識を習得することで、造園植物に関わる業務や国家資格・民間資格の取得に役立てれます。

教科書・参考書名	すぐわかる病害虫ポケット図鑑

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	30%	○	○			
小テスト	20%	○				
課題	20%	○	○		○	○
プレゼンテーション						
グループワーク	20%	○	○	○	○	○
授業での姿勢	10%					○
その他(　　)						
その他(　　)						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	講義内容の概要説明	第1回	
概要	病害虫を防ぐ基礎知識①	概要	
第2回	病害虫を防ぐ基礎知識②	第2回	
概要		概要	
第3回	病害虫を防ぐ基礎知識③	第3回	
概要		概要	
第4回	病害虫を防ぐ基礎知識④	第4回	
概要		概要	
第5回	植物別・予防と対処-1.2	第5回	
概要	庭木・花木①②	概要	
第6回	植物別・予防と対処-3	第6回	
概要	庭木・花木③	概要	
第7回	植物別・予防と対処-4	第7回	
概要	庭木・花木④　前回までのまとめ	概要	
第8回	植物別・予防と対処-5.6	第8回	
概要	草花①②	概要	
第9回	植物別・予防と対処-7	第9回	
概要	野菜・果樹①	概要	
第10回	植物別・予防と対処-8	第10回	
概要	果樹②　前回までのまとめ	概要	
第11回	病害虫別・予防と対処-1	第11回	
概要	病気①	概要	
第12回	病害虫別・予防と対処-2	第12回	
概要	病気②　害虫①	概要	
第13回	病害虫別・予防と対処-3	第13回	
概要	害虫②	概要	
第14回	病害虫別・予防と対処-4	第14回	
概要	害虫③　鳥獣外①　害虫に強い植物の健康な育て方①	概要	
第15回	害虫に強い植物の健康な育て方②　前回までのまとめ	第15回	
概要	重点内容のまとめ　試験の傾向と対策	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画(シラバス)

参照番号: G2202314

科目名	緑地空間表現法			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	1	担当教員	窪田 彩音		
				実務経験および関連資格	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

庭園・公園・都市のオープンスペース・屋上庭園(屋上緑化)などを提案する場合に、視覚的な表現手段によって情報を伝達する方法を学ぶ(ビジュアル系提案手法)
言葉や文字のイメージを具体的な物や形に表現していく。言葉や文字でだけでは伝えにくいものや雰囲気やスケール感など、イメージギャップを取り除き、写真・イラストや模型、映像を用いて相手により解りやすく理解してもらえるよう表現方法を身に付ける。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	30%	○	○			
小テスト						
課題	50%		○	○	○	
プレゼンテーション	10%			○	○	○
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他( )						
その他( )						
合計	100%					

授業計画

前 期		後 期	
第1回	緑地空間について理解する。	第1回	
概要	・日本庭園の様式	概要	
第2回	緑地空間について理解する。	第2回	
概要	・屋上庭園(屋上緑化)の構造・様式	概要	
第3回	緑地空間について理解する。	第3回	
概要	・環境配慮と癒しの環境づくり	概要	
第4回	作図のテクニック(手描き)	第4回	
概要	・平面から立体へ	概要	
第5回	表現力を磨くテクニック(手描き)	第5回	
概要	・植物、人物、点景物、地形を表現する	概要	
第6回	模型の作成	第6回	
概要	・高低差を表現する。樹木をつくる。	概要	
第7回	デジカメ活用術	第7回	
概要	・現場写真から1点透視図を描く	概要	
第8回	日本の伝統技術を学ぶ	第8回	
概要	つりしのぶをつくる。	概要	
第9回	盆景(箱庭)の歴史を学び作庭する	第9回	
概要	・盆景(箱庭)をつくる。	概要	
第10回	盆栽の歴史を学び作庭する	第10回	
概要	・ミニ盆栽をつくる。	概要	
第11回	動画制作	第11回	
概要	・YouTube動画制作の方法を学ぶ。	概要	
第12回	動画制作	第12回	
概要	・YouTube動画で緑地空間を案内する。(盆景・盆栽等作成)	概要	
第13回	見学会	第13回	
概要	・日本庭園、公園、都市緑化(オープンスペース)のどれかを選択	概要	
第14回	動画制作	第14回	
概要	・YouTube動画で緑地空間を案内する。(庭園等の見学会)	概要	
第15回	動画発表	第15回	
概要	・作成した動画を発表し、確認する。	概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202315

科目名	卒業設計			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	必修	単位数	4単位	担当教員	中安 哲男		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

2年間で学習した知識を応用して総合的、創造的に設計者・施工管理者の立場で表現しうる能力を養い、2年間の総仕上げとする。

教科書・参考書名	

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	70%	○	○	○	○	○
プレゼンテーション	30%	○	○	○	○	○
グループワーク						
授業での姿勢						
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回		第1回	
概要		概要	
第2回		第2回	
概要		概要	
第3回		第3回	
概要		概要	
第4回		第4回	
概要		概要	
第5回		第5回	
概要		概要	
第6回		第6回	
概要		概要	
第7回		第7回	
概要		概要	
第8回		第8回	
概要		概要	
第9回		第9回	
概要		概要	
第10回		第10回	
概要		概要	
第11回		第11回	
概要		概要	
第12回		第12回	
概要		概要	
第13回		第13回	
概要		概要	
第14回		第14回	
概要		概要	
第15回		第15回	
概要		概要	

＜設計コース＞
・基本構想
（ﾀｲﾄﾙ・ﾃｰﾏ・設計趣旨・ｿﾞｰﾝﾆﾝｸﾞ図）
・基本構想図Ⅰ（全体パース）
・基本構想図Ⅱ（部分パース）
・基本計画図
（全体平面図・施設平面図・植栽平面図）
・プレゼンテーション

＜施工管理コース＞
・施工計画書

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202318

科目名	庭園デッサン			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	窪田 彩音		
				実務経験および関連資	設計および施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。2級造園施工管理技士、2級エクステリアプランナー		

授業の目標・ねらい

景観を構成する素材（植物や岩、石などの自然素材）や庭園・都市公園などを様々な画法で表現できる能力を身に付ける。

教科書・参考書名	

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	80%	○	○		○	
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	デッサン入門①	第1回	
概要	2Dを2Dへ（庭園写真を描く）	概要	
第2回	デッサン入門②	第2回	
概要	2Dを2Dへ（庭園写真を描く）	概要	
第3回	フリーハンドの基本練習①	第3回	
概要		概要	
第4回	フリーハンドの基本練習②	第4回	
概要		概要	
第5回	造園素材の表現方法	第5回	
概要	1. 樹木の基本構造を理解する	概要	
第6回	造園素材の表現方法	第6回	
概要	2. 種目別植物の表現	概要	
第7回	造園素材の表現方法	第7回	
概要	3.景石、石組み、張り石、石積みの表現	概要	
第8回	風景を描く①	第8回	
概要	遠近法による描き方	概要	
第9回	風景を描く②	第9回	
概要	陰影の描き方	概要	
第10回	デッサン入門③	第10回	
概要	3Dを2Dへ（風景を描く）	概要	
第11回	デッサン入門④	第11回	
概要	3Dを2Dへ（風景を描く）	概要	
第12回	風景スケッチ①	第12回	
概要	直線からなる風景を描く	概要	
第13回	風景スケッチ②-1	第13回	
概要	曲線からなる風景を描く	概要	
第14回	風景スケッチ②-1	第14回	
概要	曲線からなる風景を描く	概要	
第15回	総括	第15回	
概要		概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202319

科目名	建設ビジネス学			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	津森 祐子		
				実務経験および関連資	社員研修、接客接遇、検定対策（秘書/ビジネス/サービス接遇）の指導員による講義。		

授業の目標・ねらい

自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識および基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識と技能を習得する。

教科書・参考書名	ビジネス能力検定 ジョブパス3級公式テキスト

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	30%	○				
小テスト	20%	○				
課題	20%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク	20%	○			○	○
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第1回	
概要	キャリアと仕事へのアプローチ	概要	
第2回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第2回	
概要	仕事の基本となる８つの意識	概要	
第3回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第3回	
概要	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	概要	
第4回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第4回	
概要	指示の受け方と報告、連絡・相談	概要	
第5回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第5回	
概要	話し方と聞き方のポイント	概要	
第6回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第6回	
概要	来客応対と訪問の基本マナー	概要	
第7回	ビジネスとコミュニケーションの基本	第7回	
概要	会社関係でのつき合い	概要	
第8回	仕事の実践とビジネスツール	第8回	
概要	仕事への取り組み方	概要	
第9回	仕事の実践とビジネスツール	第9回	
概要	ビジネス文書の基本（社内文書と社外文書）	概要	
第10回	仕事の実践とビジネスツール	第10回	
概要	電話応対	概要	
第11回	仕事の実践とビジネスツール仕事の実践	第11回	
概要	統計・データの読み方・まとめ方	概要	
第12回	仕事の実践とビジネスツール	第12回	
概要	情報収集とメディアの活用	概要	
第13回	仕事の実践とビジネスツール	第13回	
概要	会社を取り巻く環境と経済の基本	概要	
第14回	職業とキャリア	第14回	
概要	職業適性と自己分析、キャリアデザイン	概要	
第15回	職業とキャリア	第15回	
概要	応募書類（エントリーシート、履歴書）と面接の基本	概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202320

科目名	芸術			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	3単位	担当教員	松田 泰行		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

造形芸術、空間芸術を主とした様々な芸術領域や表現方法を理解することにより、それぞれが提案する庭園空間を柔軟な思考力と感性を持ってデザインし表現する力を養う。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	60%	○	○	○	○	
プレゼンテーション						
グループワーク	20%				○	○
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回		第1回	芸術の定義と意義
概要		概要	自己表現と自己実現
第2回		第2回	芸術家と作品研究①
概要		概要	絵画の世界を生きた芸術家たち
第3回		第3回	芸術家と作品研究②
概要		概要	伝統工芸の世界を生きた芸術家たち
第4回		第4回	芸術家と作品研究③
概要		概要	空間デザインの世界を生きた芸術家たち
第5回		第5回	表現技法①-1
概要		概要	文芸（言語芸術）、音楽（音響芸術）、演劇・映画（総合芸術）
第6回		第6回	表現技法①-2
概要		概要	美術（造形芸術）
第7回		第7回	芸術の実践①-1
概要		概要	
第8回		第8回	芸術の実践①-2
概要		概要	
第9回		第9回	芸術の実践①-3
概要		概要	
第10回		第10回	表現技法②-1
概要		概要	空間技術の手法と表現法
第11回		第11回	表現技法②-2
概要		概要	色彩と芸術
第12回		第12回	表現技法②-3
概要		概要	造園分野における芸術表現と作品研究
第13回		第13回	芸術の実践②-1
概要		概要	
第14回		第14回	芸術の実践②-2
概要		概要	
第15回		第15回	総括
概要		概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G1202321

科目名	ワークショップⅠ			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	1年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	窪田 彩音		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

「造園」を職業という観点から捉え、あらゆる視野、方向からアプローチし、就職意欲を高めると共に、技術者として姿勢や心構えを身に付ける。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク	80%	○	○	○		○
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	建設業の動向	第1回	
概要		概要	
第2回	建設技術者の業務	第2回	
概要		概要	
第3回	土木・建築・造園	第3回	
概要		概要	
第4回	造園の特性と仕事	第4回	
概要		概要	
第5回	造園業の仕事の流れ	第5回	
概要		概要	
第6回	造園業の仕事	第6回	
概要	緑化デザイン・設計	概要	
第7回	造園業の仕事	第7回	
概要	造園工事・施工	概要	
第8回	施工管理	第8回	
概要	造園工事監督・施工管理	概要	
第9回	維持管理	第9回	
概要	庭園管理・植栽管理	概要	
第10回	園芸と造園	第10回	
概要		概要	
第11回	花卉栽培と流通	第11回	
概要		概要	
第12回	樹木栽培と流通	第12回	
概要		概要	
第13回	街づくりと造園	第13回	
概要		概要	
第14回	造園工事の費用と利益	第14回	
概要		概要	
第15回	就職ガイダンス	第15回	
概要		概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202316

科目名	ワークショップⅡ			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	中安 哲男		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

ワークショップⅠで得た知識を元に、造園業界が担う社会での役割・責務を認識し、良識ある造園技術者としての資質・能力を養う。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題						
プレゼンテーション						
グループワーク	80%	○	○	○		○
授業での姿勢	20%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	就職ガイダンス	第1回	
概要		概要	
第2回	現場実務	第2回	
概要		概要	
第3回	公共工事と民間工事	第3回	
概要		概要	
第4回	庭園工事と公園工事	第4回	
概要		概要	
第5回	緑化ビジネス	第5回	
概要		概要	
第6回	建設業の許可制度	第6回	
概要		概要	
第7回	造園技術者にとって必要な資格	第7回	
概要		概要	
第8回	自然環境の変化とビジネスとしての造園①	第8回	
概要		概要	
第9回	自然環境の変化とビジネスとしての造園②	第9回	
概要		概要	
第10回	都市緑化と広がる造園業ニーズ	第10回	
概要		概要	
第11回	語り継がれる造園技術のいろいろ①	第11回	
概要		概要	
第12回	語り継がれる造園技術のいろいろ②	第12回	
概要		概要	
第13回	庭師からガーデナーの時代へ	第13回	
概要		概要	
第14回	世界で愛される日本庭園	第14回	
概要		概要	
第15回	総括	第15回	
概要		概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202317

科目名	土木工学			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	中安 哲男		
				実務経験および関連資格	設計及び監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

土木工学の代表的工種である土工、コンクリート工、測量、舗装工等について学習し、造園に関しての計画・設計・施工・施工管理等に活用できるようにする。

教科書・参考書名	

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	50%	○	○			
小テスト						
課題	20%	○			○	
プレゼンテーション						
グループワーク	15%	○	○			○
授業での姿勢	15%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	土木と造園	第1回	
概要	環境との関わり・・・地球環境、温暖化、SDGs	概要	
第2回	土木と造園	第2回	
概要	都市計画との関わり・・・都市・地方計画、	概要	
第3回	施工	第3回	
概要	施工管理－施工計画・工程管理・品質管理・安全管理	概要	
第4回	施工	第4回	
概要	土工-1	概要	
第5回	施工	第5回	
概要	土工-2	概要	
第6回	施工	第6回	
概要	擁壁工	概要	
第7回	施工	第7回	
概要	コンクリート工-1	概要	
第8回	施工	第8回	
概要	コンクリート工-2	概要	
第9回	施工	第9回	
概要	機械施工	概要	
第10回	測量	第10回	
概要	講義と実習、平板測量	概要	
第11回	測量	第11回	
概要	講義と実習、水準測量	概要	
第12回	測量	第12回	
概要	講義と実習、セオドライトによる測量	概要	
第13回	測量	第13回	
概要	講義と実習、トータルステーションによる測量	概要	
第14回	測量	第14回	
概要	測量のまとめ	概要	
第15回	まとめ	第15回	
概要		概要	

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202318

科目名	建築学			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	2単位	担当教員	中安 哲男		
				実務経験および関連資	設計および監理業務の経験を有する教員による講義や演習。		

授業の目標・ねらい

家と庭は一体のもの、本科目を学ぶ前提として建築と造園のかかわりを理解する。　建築全般の概要を把握することにより、他科目の公園や庭園設計演習でも積極的に活用し、建築施設（教養施設・便益施設・休養施設）の配置や意匠計画も自信をもって作図できるようになる。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認	40%	○	○	○	○	
小テスト						
課題	50%	○				
プレゼンテーション						
グループワーク						
授業での姿勢	10%					○
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前　期		後　期	
第1回	建築概論＝1	第1回	
概要	建築の概念	概要	
第2回	建築概論＝2	第2回	
概要	建築の歴史、様式	概要	
第3回	建築概論＝3	第3回	
概要	建築のテーマ性	概要	
第4回	建築概論＝4	第4回	
概要	建築の風土性・社会性	概要	
第5回	建築概論＝5	第5回	
概要	建築の機能・形態、建物空間	概要	
第6回	建築と都市計画法	第6回	
概要	土地利用、用途地域（建蔽率・容積率）、建築確認申請	概要	
第7回	建築と景観法	第7回	
概要	景観法の仕組みと概要、景観計画区域での行為規制	概要	
第8回	建築と造園＝1	第8回	
概要	建築と造園の関係（住宅と外構・庭）	概要	
第9回	建築と造園＝2	第9回	
概要	公開空地の緑化、壁面緑化、屋上緑化、室内緑化	概要	
第10回	建築と造園＝3	第10回	
概要	地域の環境（建築協定と緑化協定）	概要	
第11回	まちづくりと建築	第11回	
概要	住宅団地まちづくり事例	概要	
第12回	都市と建築	第12回	
概要	都市施設としての建物	概要	
第13回	自然と建築	第13回	
概要	建築計画と環境保全、自然と共生する建築	概要	
第14回	ニュータウン探究	第14回	
概要		概要	
第15回	街並み探究	第15回	
概要		概要	

修成建設専門学校

2023年度授業計画（シラバス）

参照番号: G2202319

科目名	企業実習			対象学科	ガーデンデザイン学科	履修学年	2年
講義	選択	単位数	1単位	担当教員	中安 哲男		
				実務経験および関連資	設計および監理もしくは施工管理業務の経験を有する教員による講義や演習。1級造園施工管理技士		

授業の目標・ねらい

企業実習を通して、設計現場あるいは施工現場にて技術者が仕事に対して取り組む姿勢を学び、最新の技術・材料・法規などを理解する。

教科書・参考書名

評価方法と評価観点

評価方法	配点	学習効果の評価観点				
		基礎力	応用力	創造力	表現力	態度・協調性
定期試験または学習到達度確認						
小テスト						
課題	80%	○	○			
プレゼンテーション						
グループワーク	20%					○
授業での姿勢						
その他（　　）						
その他（　　）						
合計	100%					

授業計画

前期		後期	
第1回	1. 概　要	第1回	
概要	(1) 社会人とは	概要	
第2回	(2) 実習先の概要・沿革	第2回	
概要	(3) 仕事の進め方	概要	
第3回	(4) ビジネスマナー	第3回	
概要		概要	
第4回	2. 設計コース	第4回	
概要	(1) 実習先における業務内容の習得	概要	
第5回	(2) 設計図書の作成	第5回	
概要		概要	
第6回	3. 施工管理コース	第6回	
概要	(1) 実習先における業務内容の習得	概要	
第7回	(2) 工程管理	第7回	
概要	(3) 安全管理	概要	
第8回		第8回	
概要		概要	
第9回		第9回	
概要		概要	
第10回		第10回	
概要		概要	
第11回		第11回	
概要		概要	
第12回		第12回	
概要		概要	
第13回		第13回	
概要		概要	
第14回		第14回	
概要		概要	
第15回		第15回	
概要		概要	